

2009年12月22日

ご挨拶

兵庫県立大学神戸
サッカー部顧問 土肥 隆

師走で何かとお忙しいこの時期、OBの皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。いつもサッカー部に温かいご支援をいただきありがとうございます。

一昨日の12月20日、今シーズン最後の試合が摂南大学の人工芝グラウンドで行われました。2部の太成学院大学との入替戦です。前半1-0でリードしましたが、後半失点し1-1で90分終了。その後、再延長までもつれ込みながら相手に得点を許し、1-2で敗戦という結果で終わってしまいました。最後の最後まで戦い続け、試合終了のホイッスルを聞いたときに思わず全員がピッチに崩れ落ち、泣き叫ぶものもいれば、悔しさに空を見つめるもの、ベンチで応援していたマネージャーも全員が泣きじゃくり、とてもつらい光景でした。大変残念ですが、念願だった2部への昇格はかないませんでした。

今シーズンは、前期リーグを2位でしのぎ、後期リーグを全勝で通年1位を獲得するという思惑通りの結果でポストシーズンに突入しましたが、2部の厚い壁に跳ね返されてしまいました。2部への期待が高まるにつれ、たくさんのOBの皆様がリーグ戦に駆けつけてご指導してくださり、現役の学生たちは皆様のご期待を肌で感じていました。皆様のご支援に対し、感謝の気持ちでいっぱいです。

主将の新田をはじめ4回生の影石、松浦、清原、マネージャーの谷口、加藤、みんなの力でチームをここまで引き上げてくれました。3回生・2回生の成長はもちろんですが、後期リーグで1回生が戦力になってくれたことは、来年度のチームにとって大きな希望でもあります。また、1回生でこのような入れ替え戦までの経験をできたことは、彼らにとって貴重な財産となると思います。

来年度は、この悔しさを胸に全員一丸となり、2部復帰を実現してくれることを期待しています。今後とも現役に対するご指導・ご鞭撻ならびに、ご支援のほどよろしく願いいたします。

OBの皆様におかれましては、よいお年をお迎えくださいますようお願い申し上げます。